



第80号

2010/11

人と環境にやさしい交通をめざす全国大会開催

路面電車を近代化したLRTを推進しようという団体は全国で40以上あり、また60以上の都市でLRTを推進する動きがある。地球温暖化対策や本格的高齢化社会に向けて、LRTを中心として都市の交通構造を劇的に転回させようとの動きである。

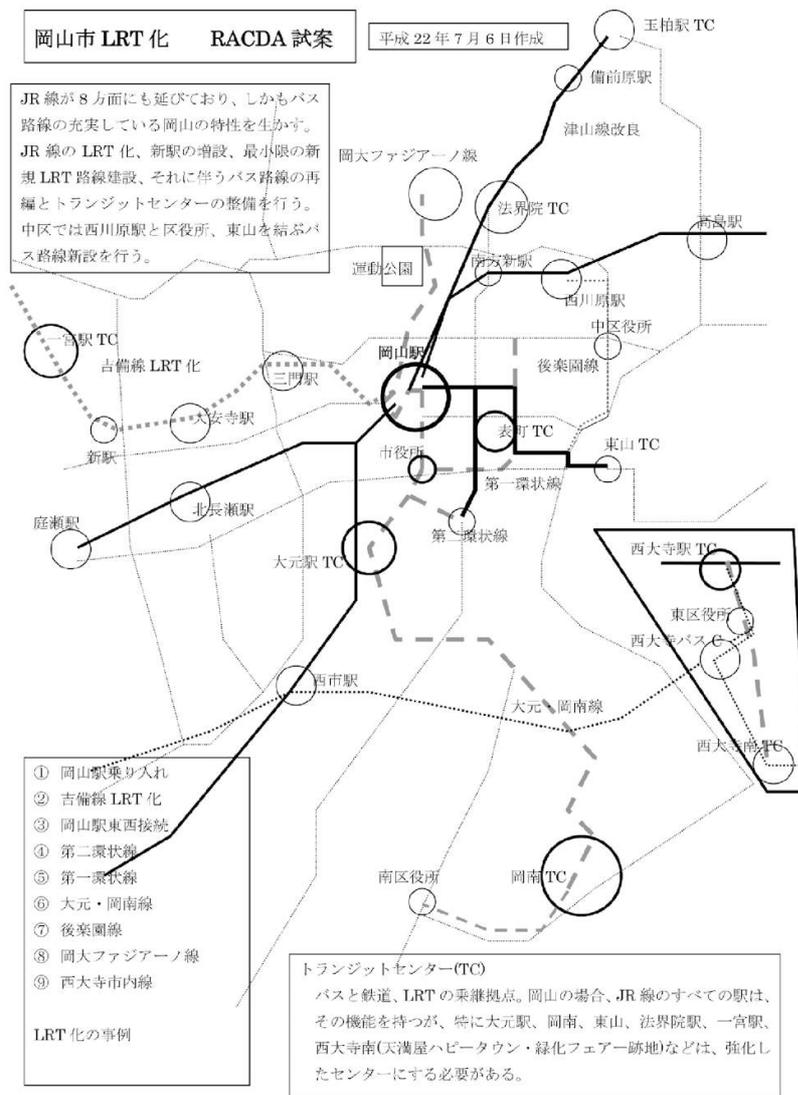
路面電車の環状化など、路面電車の活性化を本格的に最初に提案したのは岡山であった。しかしその後吉備線LRT化と同時に発表された富山では、JR富山港線が富山ライトレールとして大成功し、続いて路面電車の環状化も完成した。「コンパクトシティ」として、交通網の変革によって、高齢者でも住みやすい高効率なまちづくりを目指している。

しかし富山のあと、6年もたつが宇都宮や堺のLRT化計画は頓挫した。その中で岡山の吉備線LRT化と都心環状化構想の具体化が、全国の関係者から注目されており、いま検討されている「交通基本法」とその財源が確保されれば、実現可能のところまで来ている。

今回の大会では全国からの論文は50以上集まり、フランス人の提案する岡山の路面電車計画や、自転車と連動した吉備線改革なども発表される。

全国から500人ものまちづくりや交

通関係の専門家たちが集まり、岡山の未来を論じる。午後からの市民フォーラムでは具体的なLRT案について議論する。ぜひみなさんご参加ください。



事務局 〒700-0823 岡山市北区丸の内1-1-15(禁酒会館3F) TEL&FAX 086-232-5502

E-mail racda_okayama@ybb.ne.jp

RACDA

検索



詳しくは http://wiki.livedoor.jp/racda_okayama/ まで